



# 小梅

平成29年4月6日

発行 墨田区立小梅小学校  
校長 荒井 令子

教育目標 ○思いやりのある子 ○深く考える子 ○たくましい子

## 挨拶 それは感謝する心 思いやる心

校長 荒井 令子

新学期がスタートしてから2か月。休み時間、校庭で元気に遊ぶ子供たちの姿の中に、異学年同士でハンドベースボールを楽しんだり、男女で仲良く鬼ごっこをして遊んだりという光景が見られます。みんな楽しそうに微笑ましい姿であり、それは優しさの表れであると思います。

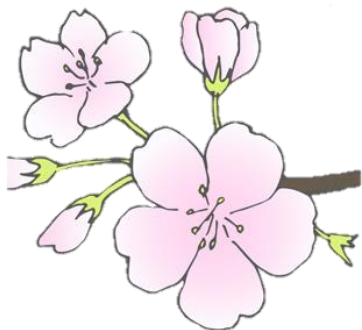
今月は本校の「あいさつ月間」です。昨年度から重点課題として取り組み、立ち止まって挨拶をする子、元気な声で挨拶する子、恥ずかしそうに挨拶をして通りすぎる子、うながされてハッと気が付いてあわてて挨拶する子など、様々です。元気のよい挨拶が返ってくると、自然に柔らかい気持ちが心の中に広がっていくのを感じます。朝の至福の一瞬です。

さて、薬師氏の僧侶である大谷徹柴さんは、挨拶には3つの役割があると述べています。第一の役割は、目に見えぬ「おかげさま」に感謝することです。私たちは、日々、気づかないうちに、いろいろな「おかげさま」に助けられて生きています。挨拶の基本は、目に見えない思いやりなどに感謝することだと述べています。第二の役割は、他から投げかけられた挨拶や言葉をしっかり受け止め、返していくことです。挨拶されたらぼやっとしてはいけな、相手にきちんと向き合うことが大切なのだと述べています。そして、第三の役割として、人間は、皆、縁があって出会いますが、その出会いを大切にすることが挨拶だということ述べています。

結局、挨拶には、自分は他の人とどのようにかかわっていくのかという心の有り様や姿勢が表れているように思います。ですから、これから、社会の中で、多くの人とかかわり、困難があっても折り合いをつけながら生きていく子供たちにとって、挨拶がしっかりとできるようになることは、とても大切なことです。また、笑顔で挨拶をし合えることは、子供の心を安定させ、和やかにさせることにもつながります。挨拶の果たす役割と意味を考えて、子供も大人も相手への思いやりや感謝の気持ちを素直に表現できるようにしていきたいものです。挨拶を通して、友達の間、教員と子供の間、御家族の絆を深めていけたら、こんなに素晴らしいことはありません。

本校の「あいさつ月間」を契機にして、御家庭でも「あいさつ運動」に取り組んでみてはいかがでしょうか。学校でも挨拶が響き合う学校を目指して指導に取り組んでまいります。

最後になりますが、6月には、道徳授業地区公開講座・学校公開週間が予定されています。学校の教育内容や子供たちの学校での様子を御理解いただけるよい機会です。いろいろな方々に参観していただくと、子供たちの意欲も高まります。ぜひ、御都合をつけて学校へお越しください。



# 御挨拶申し上げます

主任教諭 櫻井 文子

今年度から音楽を担当させていただきます。二葉小学校から参りました。神社と公園と桜に囲まれた、素敵な小梅小学校に赴任し、これから始まる生活に期待しています。楽しくて分かりやすい授業を目指して頑張ります。

教諭 杉本 有里

はじめまして。新任で着任しました。3年生以上の習熟度別授業（算数）を担当します。初任校のため、とても緊張していますが、これから多くの出会いを楽しみにしています。これから小梅小学校の一員として、力を尽くして参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務 鬼頭 聡暢

はじめまして。この度、学校事務に就きました鬼頭です。事務として赴任したため、保護者の方とお会いする機会は少ないと思いますが、子供たちとは積極的に接していきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

特別支援教室専門員 中村 光子

はじめまして。この度、特別支援教室専門員として就きました中村です。いろいろな子供たちとの出会いが、大変楽しみです。力を尽くしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

※今回紹介できなかった教職員  
については、次号でお知らせします。

